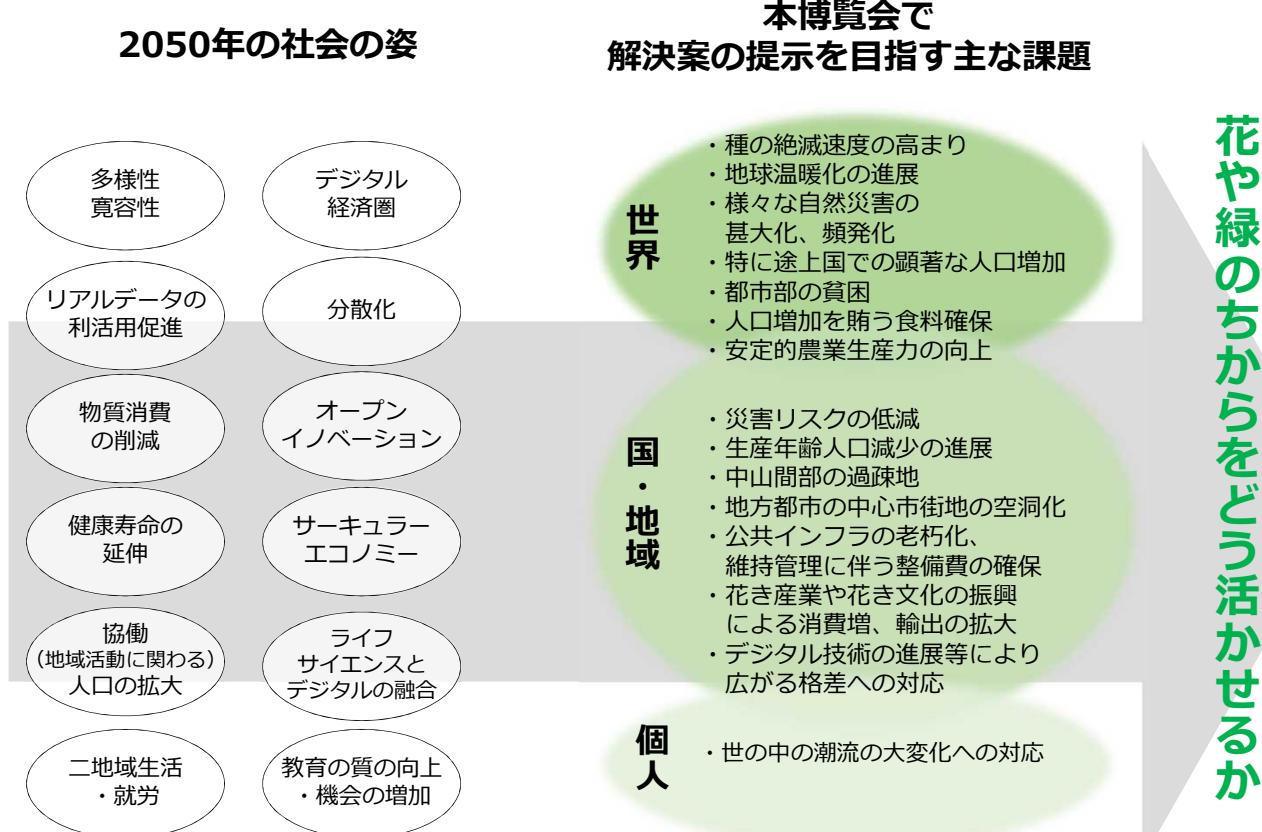


3.3 Villageで伝えたいメッセージ

◆ 6つのメッセージで多様な人を集める

- ・参加者がワクワクし、Villageに来たくなるようなメッセージを各Villageに掲げる
- ・2050年の社会を見据えながら、本博覧会で解決案を提示を目指す課題を踏まえて「2050年の社会に花や緑の力をどう活かせるか」という視点 6つのメッセージを導いた
- ・異なるメッセージを発信するVillageを配置し、多様なコミュニティのあり方を体現する



Villageで伝えたいメッセージ

デジタル技術でリアルに彩られる 花・緑の多様性

生物多様性が科学技術の進歩に重要であることを発信し、リアルの重要性を再定義するとともに、新産業の創出につなげる

世界の文化がそろい咲き誇る国際交流

世界の花や緑、農、食などをテーマにした文化の紹介や体験を通して国際交流を提供し、多様な文化のあり方を浸透させる

エコと共存した循環型社会

上瀬谷の特徴の一つである農に着目し、自然の機能を賢く利用し、Village内での100%サーキュラーエコノミーを実現する

みどりの力で造るフレキシブルな社会

防災に関する自然の機能を活用した先人たちの知恵や、人が生きていくうえで必要な水や食料に関する技術や知恵を紹介する

多様なコミュニティが織りなす園芸文化

園芸や植物をテーマにしたアートや伝統文化を通じたコミュニティの形成や先端技術による新たな価値感を提案する

新技術がもたらす自然共生の ライフスタイルへの転換

技術の進展で可能になる自然とふれあう時間が充実したライフスタイルを提案する

3.4 Villageイメージ図



3.4 Villageにおけるコンテンツの展開

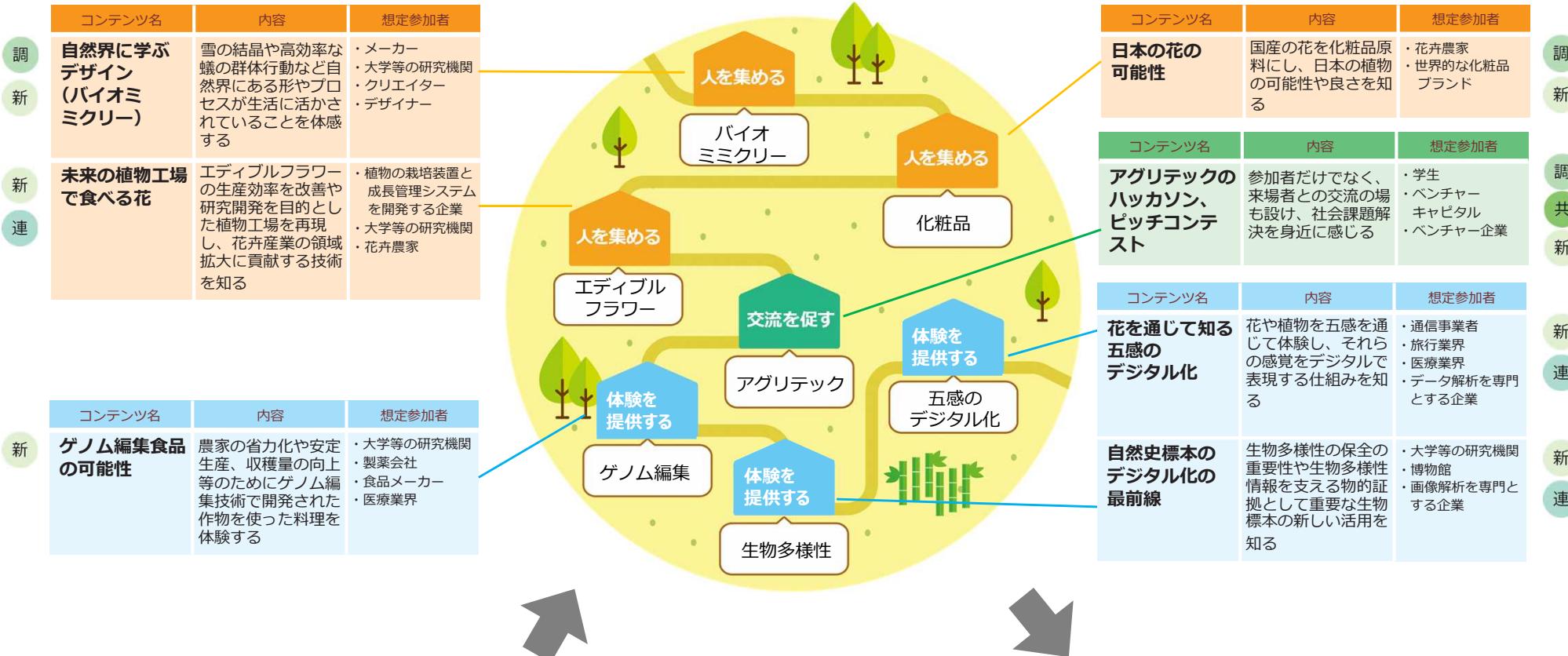
デジタル技術でリアルに彩られる花・緑の多様性

生物多様性が科学技術の進歩に重要であることを発信し、リアルの重要性を再定義するとともに、新産業の創出につなげる

<Village配置の考え方>

斬新な建物中心で、未来的な印象を与えるコンテンツを多く展開し、ワクワク感を演出できるので、最初に来場者の目に付きやすい入場ゲート付近に配置する

汎用：調（自然との調和）共（緑や農による共存）新（新産業の創出）連（連携による解決）



会期前の取り組み

- 国内外の子どもたちに「未来の植物工場」のアイディアを出してもらう。
- 生物多様性スタンプラリーを企画し、各地の博物館や動物園をめぐり、生物多様性の重要性を知ってもらう。

レガシー

- アグリテックのハッカソンやピッチコンテストを年次イベント化し、上瀬谷で開催。国内外から関心の高い人を集め、地域の賑わいや地元農業関係の活気を生み出す。

3.4 Villageにおけるコンテンツの展開

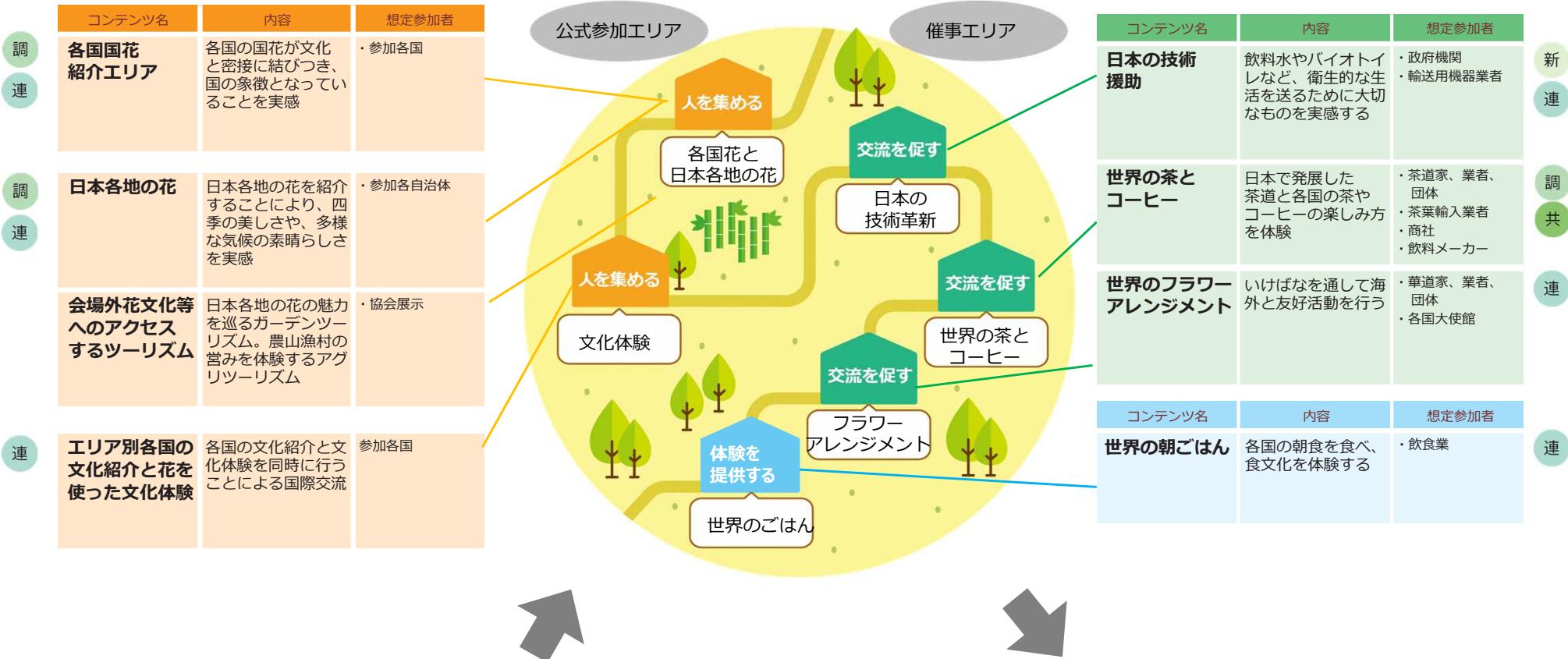
世界の文化がそろい咲き誇る国際交流

世界の花や緑、農、食などをテーマにした文化の紹介や体験を通した国際交流を提供し、多様な文化のあり方を浸透させる

<Village配置の考え方>

国や地域ごとに違う文化を体験を通じて実感できる展開を行うため、催事施設や公式参加エリアと連携した交流イベントを開催できるような配置にする

汎用：調（自然との調和）共（緑や農による共存）新（新産業の創出）連（連携による解決）



会期前の取り組み

- 市内の学生や留学生を中心として、コンテンツ企画を行い、日本と海外の各国が園芸・農を通じて個人レベルでのネットワークを構築する。

レガシー

- 各国のナショナルデーなどを契機に、多数の国からの参加者を迎える、園芸・農・食を通じた文化コミュニティを構築する。

3.4 Villageにおけるコンテンツの展開

エコと共に存した循環型社会

上瀬谷の特徴の一つである農に着目し、自然の機能を賢く利用し、Village内での100%サーキュラーエコノミーを実現する

<Village配置の考え方>

建物は少なく、牧歌的な雰囲気を演出し、農に着目したコンテンツが多数展開されるため、農地に隣接するエリアに配置し、隣接する農地と連携も視野に入れる

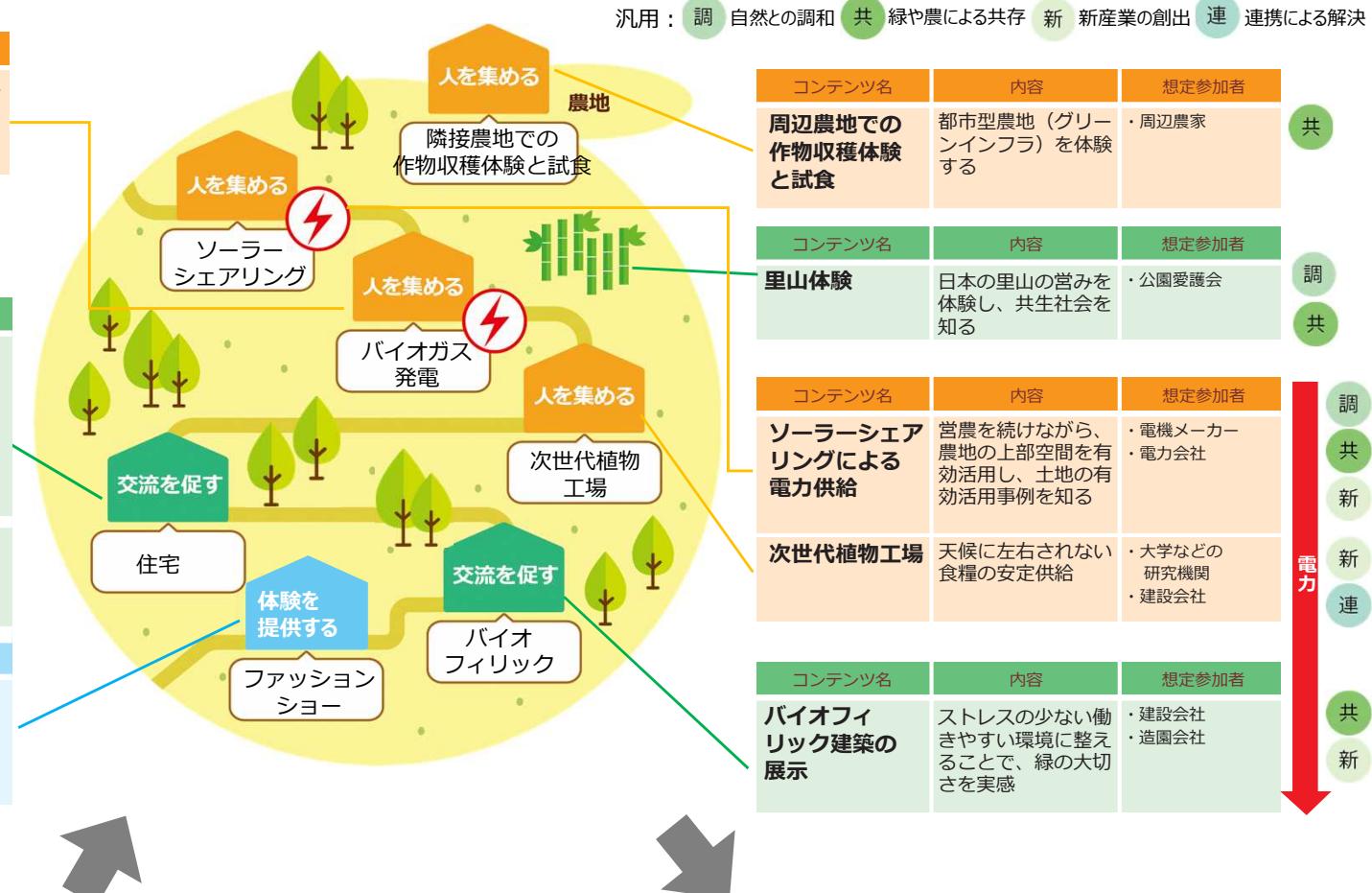
コンテンツ名	内容	想定参加者
食物残渣によるバイオガス生成と発電	会場内飲食での食物残渣を見せる化し、我々の食べ残しの多さを実感する	・ガス精製機器会社

電力

コンテンツ名	内容	想定参加者
庭園・農園住居がデザインされたによる農のある暮らし（宿泊体験+農の体験）	農のある暮らしを体験し、自らグリーンインフラ実装の実践者となる	・造園会社 ・都市型住宅メーカー ・種苗会社

コンテンツ名	内容	想定参加者
住宅による雨水利用	雨水を生活用水の一部として使い、天の恵みを余すことなく利用	・造園会社 ・都市型住宅メーカー ・種苗会社

コンテンツ名	内容	想定参加者
リサイクル着物生地を利用したファッショショード	日本の使い切る文化とファッショショード	・着物・服飾系デザイナー



会期前の取り組み

- 会期3年前より種苗会社と連携し、イベントとして個人宅でのプランターによる野菜作り教室を開催する。

レガシー

- 個人宅（戸建・集合住宅問わず）にて、野菜作りが継続して行われ、食の大切さや農への理解が深まる。

3.4 Villageにおけるコンテンツの展開

みどりの力で造るフレキシブルな社会

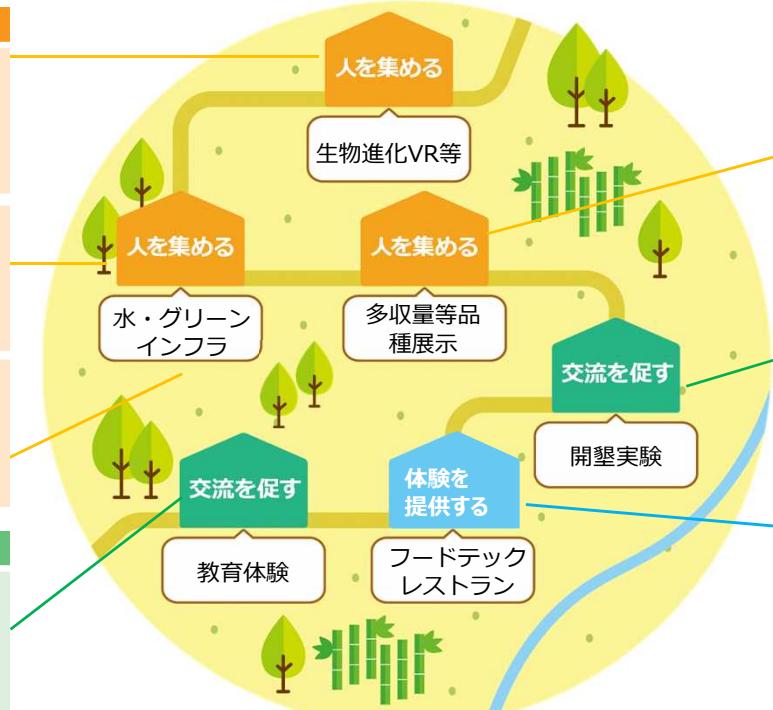
防災に関する自然の機能を活用した先人たちの知恵や、人が生きていくうえで必要な水や食料に関する技術や知恵を紹介する

<Village配置の考え方>

生命の源である水や食に着目するとともに、自然の持つ多様な機能を活用した先人たちの知恵をコンテンツを展開し、水源に隣接させ効果的な演出とする

汎用：調（自然との調和）共（緑や農による共存）新（新産業の創出）連（連携による解決）

コンテンツ名	内容	想定参加者
生物進化の歴史 の五感を通して VR体験	人、動物、植物の順応性を知る	・ゲーム、アニメ制作会社 ・生物学者
多機能な自然を 活用した減災 対策（グリーン インフラ）	日本の高い災害対策 技術の発信	・行政 ・建設業界
未来の水マネジ メント（先端の 高度処理、バラ スト水）の展示	水需要の増加、水ス トレス緩和への意識 向上	・行政 ・飲料業界
自然を体験する スカウティング	自然を活かした対応 力を上げる提供	・教育機関 ・出版業界 ・スカウティング 団体



コンテンツ名	内容	想定参加者
多収量、病害虫 温暖化に強い 農作物品種の 展示	・食料問題の提起 ・日本技術の発信	・農家 ・種苗メーカー ・農業試験場
土・肥料づくり から始める開墾 実験	・農を取り入れた生 活の提案 ・日本の土壤の特色 を知る	・市民 ・農家 ・土地改良研究者
フードテック (人工肉、完全食) や昆虫食など 未来の食材とAI により調理する レストラン	・食料問題の提起 ・健康意識の向上	・レストラン ・食品メーカー ・バイオ関連企業

会期前の取り組み

- 植物等、自然資源を活かした防災技術や日本の高い農業技術に関する、ワークショップを途上国を含む世界の留学生・研修生や横浜市民、プロ農家、地元農家、NPOなどで実施。

レガシー

- 農業大国である途上国と横浜市における農業ネットワークの構築
- 自然と共生するための技術の開発、普及を進める横浜市のグリーンシティとしてのブランド向上

3.4 Villageにおけるコンテンツの展開

多様なコミュニティが織りなす園芸文化

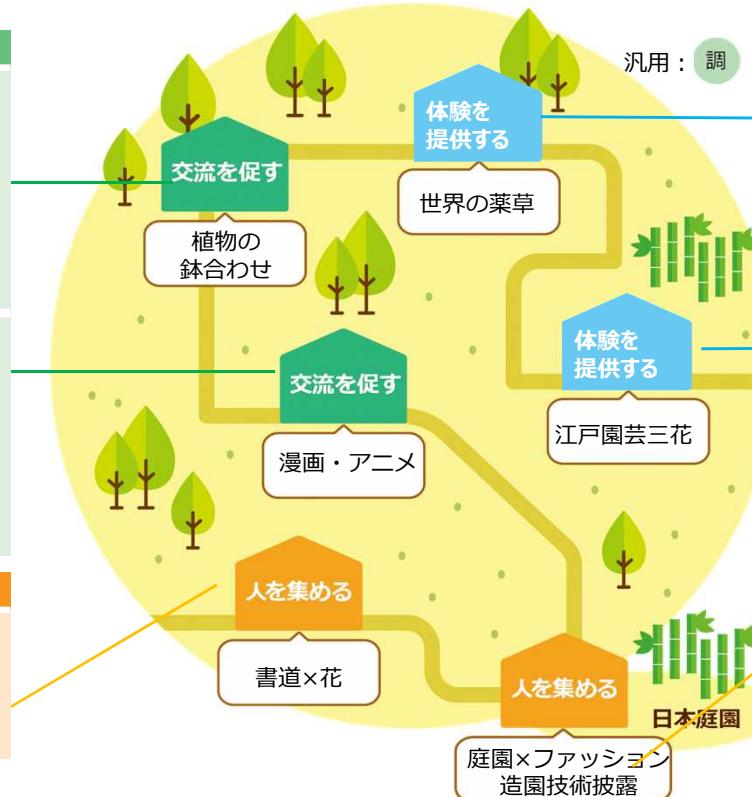
園芸や植物をテーマにしたアートや伝統文化を通じたコミュニティの形成や先端技術による新たな価値感を提案する

<Village配置の考え方>

先端技術により日本文化の新しい考え方や日本と各国とのつながりを知ることで、新たな発見につなげる。日本庭園との連携により効果的な演出を図る

自然との調和 共 緑や農による共存 新 新産業の創出 連 連携による解決

コンテンツ名	内容	想定参加者
花のある暮らし プロジェクト	磁器や陶器で江戸時代の観賞用植木鉢を作り、自宅で使い、江戸時代に、鑑賞用植木鉢と植物の鉢合わせも楽しんだ日本文化を体験。みんなが楽しんでいる様子を会場でも表現	・磁器、陶器メーカー
みんなでつくる 自然	日本の漫画やアニメ、絵画などに描かれる自然を360°映像で演出。参加者が描いた花や動物を映像化し、同時に空間に写すことでの自然の表現の多様性を体感	・クリエイター ・市民 ・映像空間デザイナー、企業
書道パフォーマンス × 花	書道パフォーマンスの作品に合う切り花を花卉農家が提供し、市民が飾り付け、みんなで作品を創る	・書道家、書道部 ・市民 ・花卉農家



コンテンツ名	内容	想定参加者
薬草から知る 日本と世界の つながり	日本と各国の薬草を通じたつながりの展示や薬草のカクテルを楽しみ、薬草について知る	・製薬業界 ・医療業界
江戸園芸三花 (朝顔・花菖蒲 ・菊) の世界観 展示	江戸時代に自慢の奇品植物を競い合った愛好家たちの園芸熱や植物の葉や茎の変異を「芸」として珍重したという日本の園芸文化を知る	・花苗業界

コンテンツ名	内容	想定参加者
日本庭園を舞台 にしたファッショントレードショー	光や音を使った演出で、日本庭園を舞台に世界的なブランドのファッショントレードショーを実施。日中の庭園とは別の顔を感じてもらう	・音楽アーティスト ・ファッショントレード ・空間デザイナー
造園技術 デモンストレーション	生垣、雪吊等の日本の造園技術を知る	・造園技術者

会期前の取り組み

- 世界に知られる日本のアニメで、上瀬谷をテーマにしたアニメ製作を行い、本博覧会で伝えたいメッセージを世界に発信していく。監督のもと、国内外の参加型（キャラクター名の募集など）でアニメをつくる。

レガシー

- スポンサー、サポーターの協力のもと、本博覧会のテーマに沿ったアニメを継続して製作し、横浜ブランドとして世界に発信する。